

2009年12月31日(木曜日)

県政この1年 2009年

平成21年の県政の動き、マニフェスト「福井新元気宣言」の4つのビジョンに沿って分野ごとにご紹介します。

元気な社会

未来を託す教育・親しみ楽しむ県民文化

福井っ子によりよい教育を

きめ細かい指導を行うことにより子どもたちの可能性を最大限に伸ばそうと、「元気福井っ子新笑顔プラン」に基づいて、小中学校各学年の特性を踏まえた独自の学級編制や少人数指導を実施しています。また、高校生についても学力分析の結果に基づき、より良い指導法を研究するなど、学力向上に力を入れています。



文部科学省が実施した学力や体力についての全国調査で、本県の小中学生はともに全国最上位の成績を収めています。そこで県では「元気ふくいっ子学力向上センター」を開設し、学校や教員の教育力のさらなる向上を目指しています。

大学連携リーグで教育力アップ

県内の大学等が連携し、互いに知識や技術の交流を深めることで研究の向上と人材育成を図る「大学連携リーグ」。今年から、まちなかに「サテライト・キャンパス」を開設し、大学生をはじめ、高校生や県民のみなさんも気軽に大学の講座を受講することができるようになりました。学生の視野を広げ、社会人の学習機会の充実を図るとともに、高校生の進路選択の参考になっています。



大学の講座を高校生が体験

こども歴史文化館オープン！

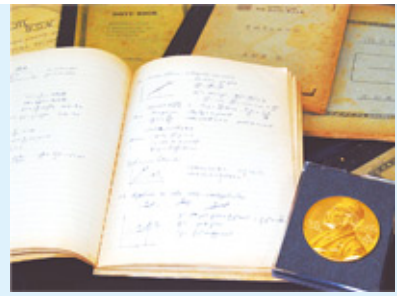
松平春嶽や白川静博士をはじめとする福井ゆかりの先人・達人にスポットをあてた「こども歴史文化館」がオープン。展示物に触れたり、自ら考えたりする仕掛けが満載です。ぜひお越しください。



パズルを使って楽しく漢字が学べるコーナー
(白川静 漢字ワールド)

南部陽一郎記念 ふくいサイエンス賞を創設

県内の中学生・高校生等の理科や数学に対する興味関心を高め、新しい才能や可能性を発見するため、「南部陽一郎記念 ふくいサイエンス賞」を創設しました。第1回目の受賞者は、来年1月のスーパーサイエンスフォーラムで発表されます。



南部陽一郎博士から提供されたノーベル賞のメダル(複製)と自筆のノート

日本一の子育て応援

みんなで協力ママ・ファースト運動

子どもが安心して放課後を過ごすことができる環境を整備しようと、校舎や空き教室の活用を支援。また、未婚の方に出会いや交流の場を提供したり、妊婦健診の原則無料化や保育料・乳児医療費の無料化などの支援を行っています。さらに、年度内には新しい子ども子育て応援計画を策定予定です。

きめ細かい子育て支援

子どもが安心して放課後を過ごすことができる環境を整備しようと、校舎や空き教室の活用を支援。また、未婚の方に出会いや交流の場を提供したり、妊婦健診の原則無料化や保育料・乳児医療費の無料化などの支援を行っています。さらに、年度内には新しい子ども子育て応援計画を策定予定です。



子どもの急な病気の際も安心して病院へ

イキイキ・長生き「健康長寿」

がん予防・治療日本一を目指して

県立病院内に開設した「がん医療センター」に胃がんの専門外来を設置。複数の専門家がチームを編成し、患者一人ひとりに応じた最適な治療を提供しています。また、最先端のがん治療を行う「陽子線がん治療センター(仮称)」の建設について、治療装置の搬入・据付を開始しました。

新型インフルエンザの予防対策

鳥インフルエンザ等の強毒性の新型インフルエンザ対策を進めるため、独自の行動計画を策定しました。

また、今年発生した新型インフルエンザに対応するため、対策本部を設置し、県民への情報提供、流行状況の監視、抗インフルエンザ薬の備蓄やワクチン接種を進めています。

みんなの手によるあたたか福祉

ハートフルなまちづくり

車いす使用者や妊産婦など、歩行の困難な方に安心して外出してもらうための駐車場「ハートフル専用パーキング」の設置を進めています。また、妊産婦の利用対象を母子手帳取得時から産後6ヶ月までに拡大しました。さらに、障害者や高齢者が利用しやすいよう、JR武生駅・敦賀駅のバリアフリー化を支援しています。

介護の人材不足を解消

介護への理解を深め、人材の確保や離職防止を図ろうと、高校生を対象とした職場体験を実施したほか、現場で働きながら介護技術を習得できるトライアル雇用、有資格者を対象とした学び直し研修会などを行っています。



介護職の有資格者に最新の介護事情や技術を習得してもらうための学び直し研修会

未来を託す教育・親しみ楽しむ県民文化

子どもたちの安全・安心を確保

交通事故や不審者から子どもたちを守ろうと、「子ども安心県民作戦」を展開。登下校中の見守り活動や、地域や学校が一体となったパトロールなどを行うとともに、通学路への防犯灯の整備を進めています。

建物の耐震化を

県民のみなさんの安全・安心を守るため、体育館や教室等、学校の耐震化、老朽化した研究所や福祉施設等の改修、機器の更新などを実施しています。

元気な産業

世界に広がる福井の産業

経済・雇用対策を展開

●雇用対策

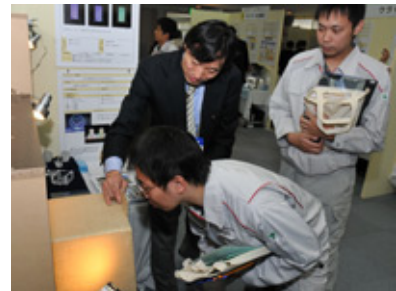
離職者の再就職を支援するため、雇用基金を活用し新たな雇用を創出するほか、必要な技能を身に付けるための職業訓練を実施しています。また、福井県雇用維持緊急助成金を創設し、従業員の雇用を守る事業主を応援するほか、若者に対しては、就職面接会の開催などを行っています。さらに、「求職者支援センター」の設置や求人开拓員の配置など、相談や求人开拓の体制を強化しています。

●中小企業支援

経営安定資金の融資枠を拡大し中小企業の資金繰りを支援するほか、省エネルギー・コストダウン診断による経営体制の強化を図っています。また、農商工連携や県外大手企業との商談会を通して新たな販路を開拓したり、「ふるさと消費」元気フェア」等で県内消費の拡大を図っています。

福井を体験し味わい楽しむ観光を

より多くの人に福井を訪れてもらうため、「新ビジットふくい推進計画」を策定。地域の特色を活かした目玉となる観光地づくりや観光圏の整備など、観光地の魅力アップに取り組んでいます。また、首都圏をはじめ人の多く集まる場所でのPR活動を実施したほか、海外事務所とともに上海等の旅行会社を訪問し観光誘客に努めるなど、福井を売り込む営業体制を強化しています。



自社の技術や製品を熱心に説明する担当者



JR新宿駅構内に登場したワイドボード

観光営業部を設置

福井の魅力を国内外に売り込むため、県は「観光営業部」を新設。さまざまな分野と連携を図りながら、ブランド力の向上や観光誘客に力を入れています。

第60回全国植樹祭を開催！

6月7日、福井市の一乗谷朝倉氏遺跡を式典会場に、第60回全国植樹祭を開催。天皇皇后両陛下のご臨席のもと、自然を守り育て、次世代に引き継いでいくことを全国に発信しました。また、全体の進行を県内高校生が務めたり、子どもたちによるアクションやコカリナの演奏が行われるなど、県民手づくりの温もりあふれる式典となりました。



子どもたちに優しく声をかけられる両陛下



大会の司会・進行を務めた高校生4人と貫地谷しほりさん

力強いプライドの農林水産業

福井の農業を新たなステージへ

福井の農業をより良くするため、「ふくいの農業・農村再生計画」を策定。コシヒカリなどの質を高める「さつき半ばの適期田植え」を促進するほか、食育や地産地消をさらに進めるため、「学校給食畑」を設置し農業体験や給食へ活用。また、中山間地などで出

荷されていなかった農産物を集荷し、供給・販売できる体制を作っています。

がんばる海業

福井のおいしい地魚を消費拡大するため、「おさかな直販市」を定期的開催。また、大型クラゲに対して、漁業への影響を軽減するための駆除に対する支援を行っています。

陶芸館がリニューアル！

越前焼の魅力を紹介する県陶芸館がリニューアルオープンしました。日本最大級の大壺展示や窯元の作陶を見学できる製作実演コーナーなど、越前焼を見るだけでなく「触れて、楽しむ」ことができます。

元気な県土

高速交通時代のにぎわい交流まちづくり

北陸新幹線の県内早期整備を

2月に福井駅部が完成した北陸新幹線。一日も早い敦賀までの早期認可・着工を目指しています。

中部縦貫自動車道の整備が進む

福井市と長野県松本市を結ぶ中部縦貫自動車道の上志比

活気ある港へ

国際物流の拠点をめざす敦賀港の、韓国釜山港とを結ぶ定期コンテナ便を増便しました。また、敦賀市や民間企業とともにターミナルの管理運営を行う「敦賀港国際ターミナル株式会社」を設立するなど、来年の本格供用に向け整備を進めています。



3月に開通した中部縦貫道の上志比―勝山間

足羽川激特事業が竣工！

平成16年の福井豪雨を契機に着手した足羽川激特事業は、11月に全ての工事が完了しました。また、福井豪雨の教訓を風化させることのないよう、防災に対する県民意識の一層の向上を図るため、「防災フォーラム」を開催しました。



架け替え工事が終了した泉橋

元気な県政

県政のレベルアップ

市町振興プロジェクト

全国に誇れる地域づくりを進めるため、市町と共同で実施している「市町振興プロジェクト」。敦賀港クルーズの実施や大野市のまちなか整備など、10市町で地域資源を活かした事業を行いました。



「第26回全国自治体政策研究交流会議」が8月、本県で開催されました。「転換期における地域の再生に向けて」をテーマに、全国から集まった約500人の自治体関係者が地方自治のあり方などについて考えました。

夢と誇りのふるさとづくり

「ふるさと帰住」スタート!

今年度を「ふるさと帰住」スタートの年と位置づけ、県庁内に「ふるさと帰住センター」を設置しました。大都市での「ふくい暮らし相談セミナー」の開催や、学生向けに県内で実施する就職説明会にあわせて都市圏から本県への無料Uターンバスを運行するなど、ふくいへの帰住を促進しています。

「ふるさと貢献」を促進

本県の提唱で実現した「ふるさと納税」。いただいた寄付金で、子どもたちの自然体験学習の実施や子育て応援など、ふるさとの良さを実感できる事業に活用しています。

「恐竜王国ふくい」を全国に

「恐竜」ブランドを全国にPRするため、大阪のユニバーサル・スタジオ・ジャパン等での特別展示のほか、ユニクロ店舗での恐竜Tシャツの販売や楽天トラベルサイト内の専用ホームページの開設など、大手企業との連携を強化しました。また、来年の県立恐竜博物館10周年の目玉として大型恐竜「カマラサウルス」の全身骨格化石を購入。今後、クリーニングや組み立て作業を進め、順次一般公開を行っていきます。



一部公開された、カマラサウルスの全身骨格化石の上腕部

2010年日本APECエネルギー大臣会合の開催が決定!

アジア・太平洋の21の国や地域が集い、今後のエネルギー政策について議論する2010年日本APECエネルギー大臣会合が、来年6月19日(土)、20日(日)に本県で開催されます。本県初となる大規模国際会議の成功に向けて、協議会を設置したほか、機運を高めるためのフォーラムを開催しています。

みんなで福井の環境を守り育てる

福井の豊かな環境を次の世代へ引き継いでいくため、環境基本計画に基づいた活動を展開。将来を担う子どもたちに環境への興味・関心を持ってもらおうと、独自の教材を用いた環境学習や自然体験学習などを実施しています。また、福井型カーボン・オフセットの推進や、使わなくなった自転車を「みどりの自転車」として再利用するなど、全国に先駆けた活動を行っています。



本県独自の環境教材「エコ・ワークブック」を用いた授業(越前市北日野小学校)

公用車に電気自動車を導入!

環境にやさしい次世代自動車の普及を図るため、8月から公用車に電気自動車5台を導入し、公務やイベントなどで広く活用しています。

幕末福井の歴史をPR

松平春嶽や橋本左内など、幕末期の日本をリードした人物を多く輩出した福井の歴史を広くアピールするため、県内外で講演会やパネル展を開催。今後、幕末期の文献を現代語訳し、メディアや小説家等に提供するなど、福井を題材としたドラマや小説の制作につなげていきます。